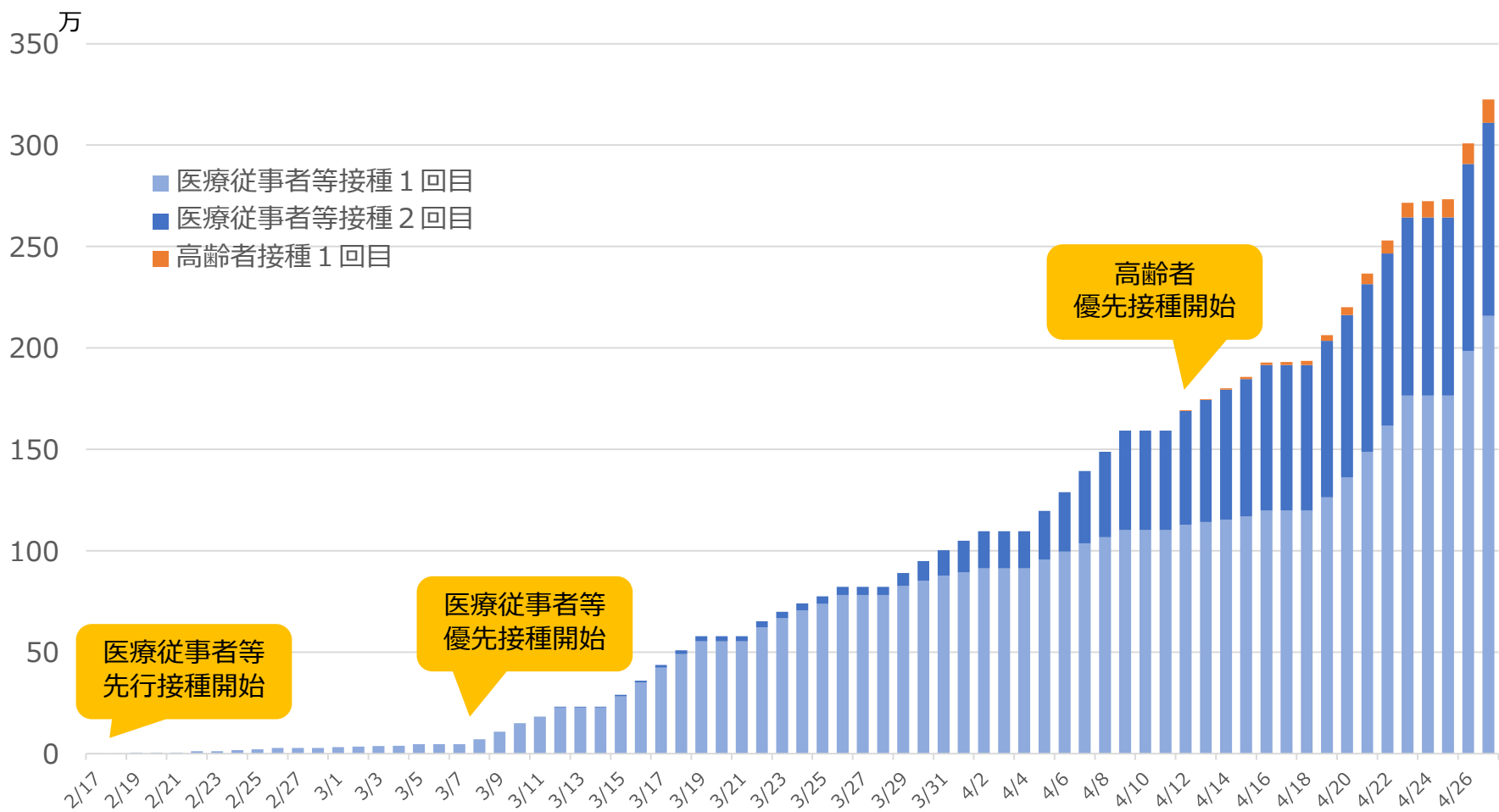


# 新型コロナウイルスワクチン接種について

# 全国の接種回数（累計）の推移

- 2月17日からの医療従事者等接種が、4月12日からは高齢者接種がスタート
- これまで、4月27日までの累計で約320万回の接種が行われている



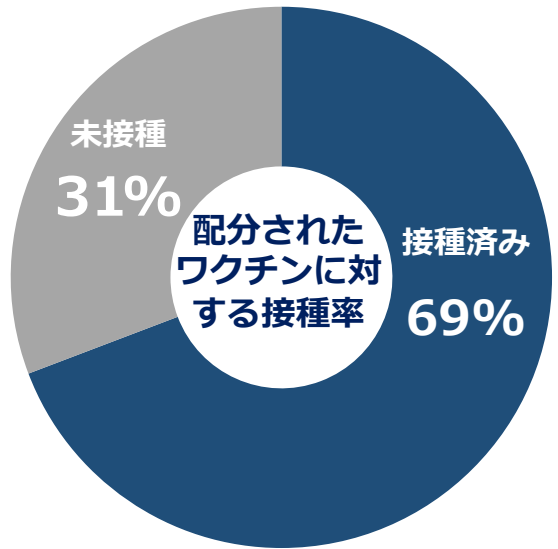
(出典) : 首相官邸「新型コロナワクチンについて」 <https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/vaccine.html> および  
厚生労働省「新型コロナワクチンについて」 [https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine\\_00184.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_00184.html)  
で公開されている接種回数を元に作成

# 県内の医療従事者等の接種状況

接種回数 2月19日～4月29日（4/29時点でV-S Y Sに入力されたもの）

区分	接種回数	接種回数	
		内1回目	内2回目
医療従事者等	51,558	37,345	14,213
高齢者	2,956	2,956	0
高齢者施設等従事者	841	841	0
合計	55,355	41,142	14,213

【医療従事者等接種の接種状況】



- 4月19日の週までに供給されたワクチン（74,490回分）に対して、約69%分を使用。

# 新型コロナウイルスワクチンの安全性について

- 新型コロナウイルスワクチンについては、接種開始後も、国において、次のとおり安全性についての情報が収集されており、個人が接種の判断を行うための参考情報として、公開されている。
- また、三重県においても、国立病院機構三重病院が開発したアプリ（COV-Safe）により、副反応等の情報を提供。

## 先行接種者健康調査

先行的に接種を受ける1～2万人程度の医療従事者の方を対象とした、接種後一定期間（約1か月）に起こった症状・疾病に関する調査。接種部位の腫れ・痛み、発熱、頭痛など、様々な副反応の頻度など調べ、情報提供を実施。



国立病院機構三重病院が、ワクチンの安全性情報をリアルタイムで提供できるSNSアプリ「新型コロナウイルス感染症ワクチン安全性調査アプリ（COV-Safe コブセーフ）」として開発。ワクチンの副反応情報をリアルタイムで収集し、収集したワクチンの副反応等の正確な情報を提供。

<https://sites.google.com/view/cov-safe/>

## 副反応疑い報告と 審議会での評価

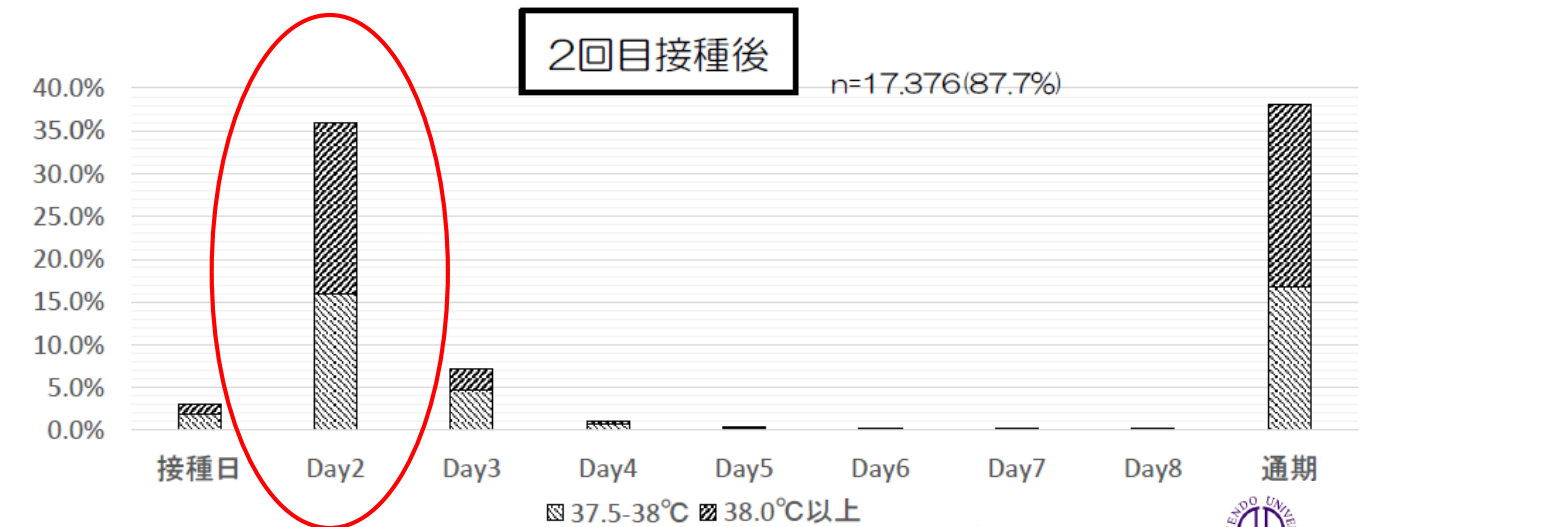
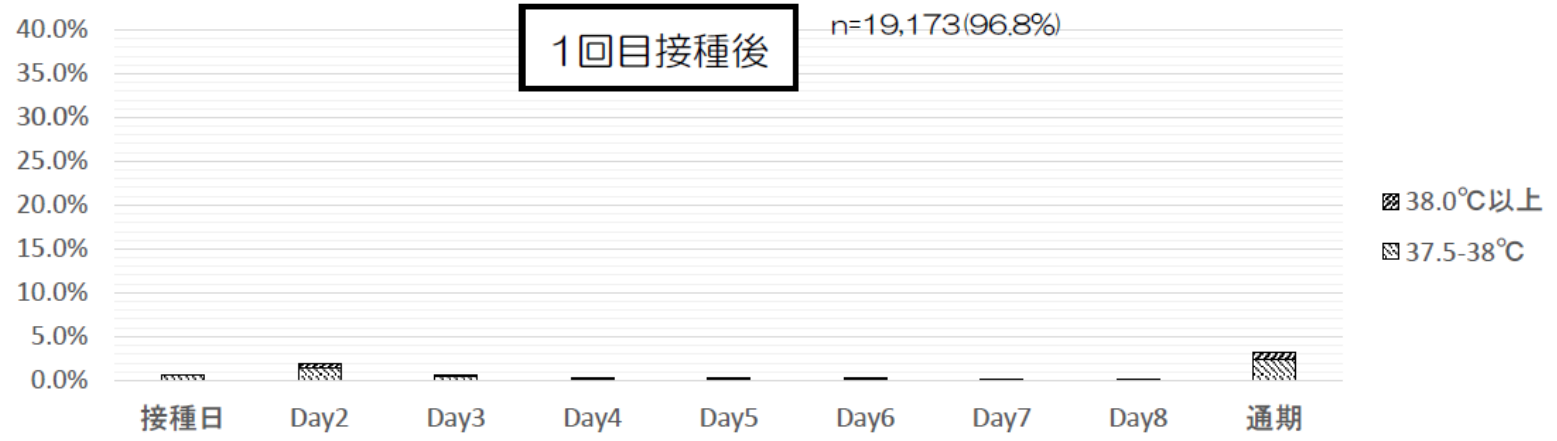
接種後に生じうる副反応を疑う事例について、医療機関に報告を求め、収集。ワクチンと関係があるか、偶発的なもの・他の原因によるものかが分からない事例も数多く報告される。収集した報告について、厚生労働省の審議会に報告し、専門家による評価を行い、結果を公表。

# 医療従事者先行接種における副反応疑い調査の中間報告（全国）

新型コロナワクチンの投与開始初期の重点的調査  
（コホート調査）

## 発熱（37.5℃以上）

Data Cutoff Date 2021/4/21 8:00



(出典) 新型コロナワクチンの接種後の健康状況調査 健康観察日誌集計の中間報告（令和3年4月23日）  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine\\_kenkoujoukyoutyousa.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_kenkoujoukyoutyousa.html)

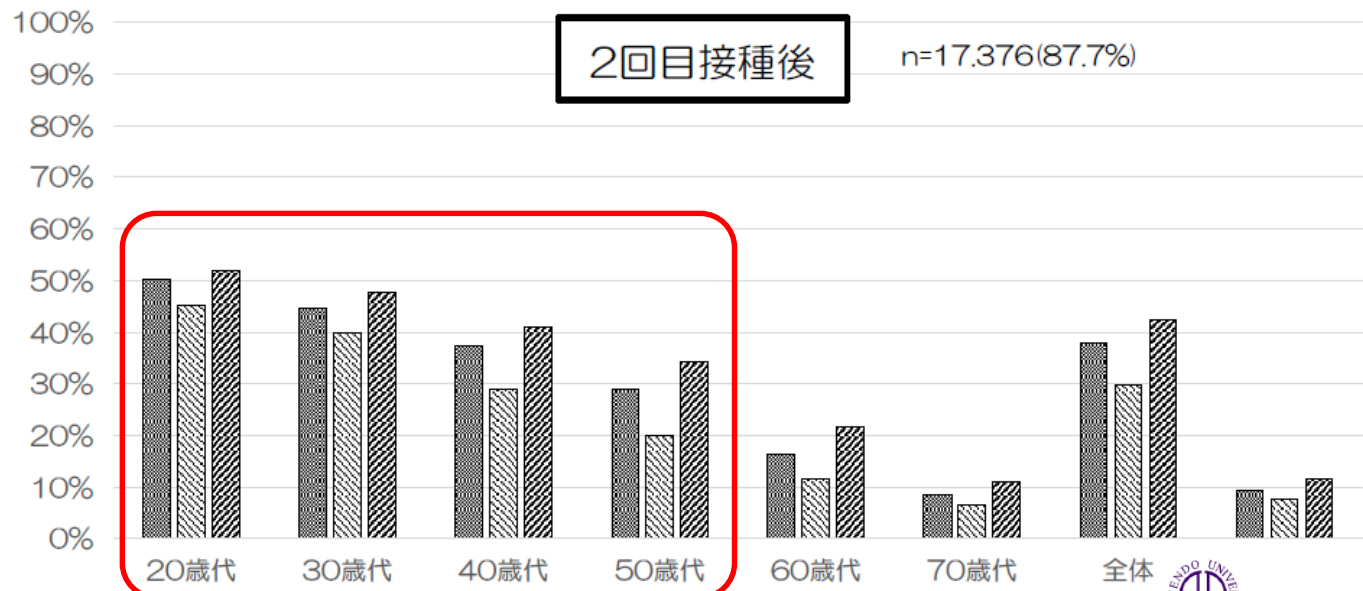
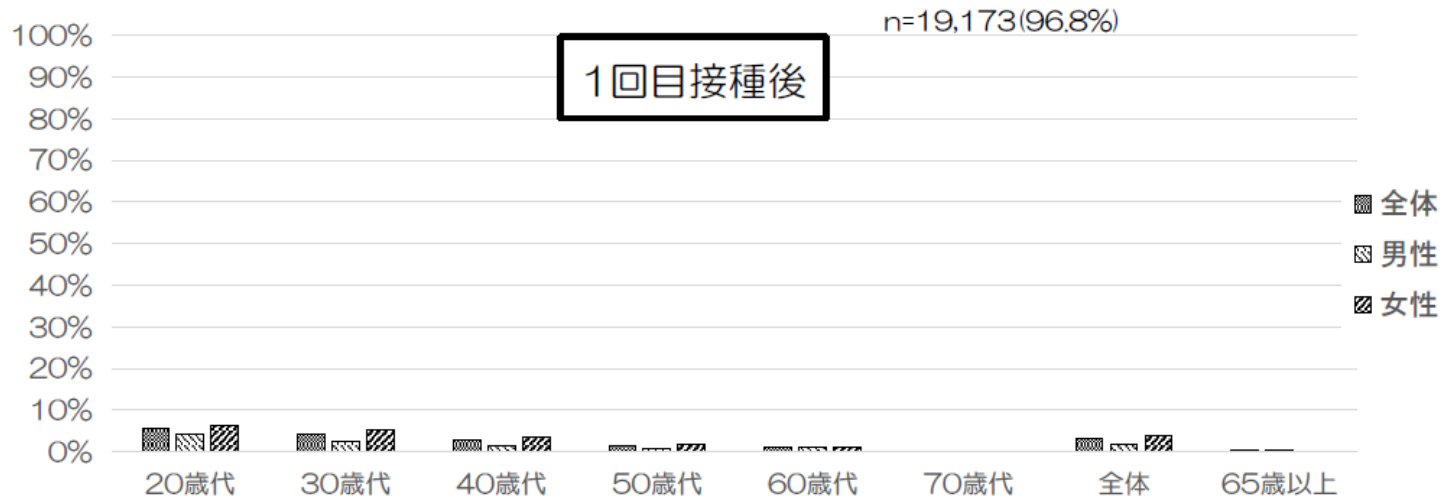


# 医療従事者先行接種における副反応疑い調査の中間報告（全国）

新型コロナワクチンの投与開始初期の重点的調査  
(コホート調査)

## 発熱（37.5℃以上）

Data Cutoff Date 2021/4/21 8:00



(出典) 新型コロナワクチンの接種後の健康状況調査 健康観察日誌集計の中間報告（令和3年4月23日）  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine\\_kenkoujoukyoutyousa.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_kenkoujoukyoutyousa.html)



# 医療従事者先行接種における副反応疑い調査の中間報告（全国）

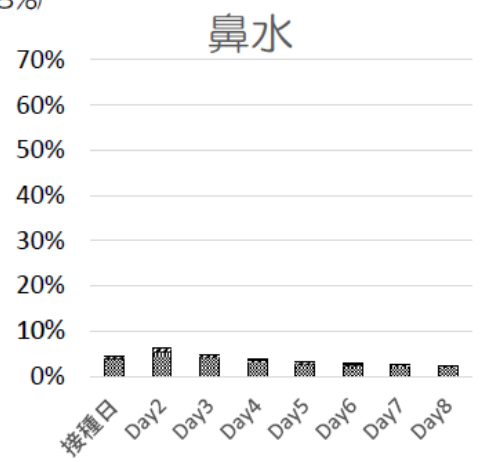
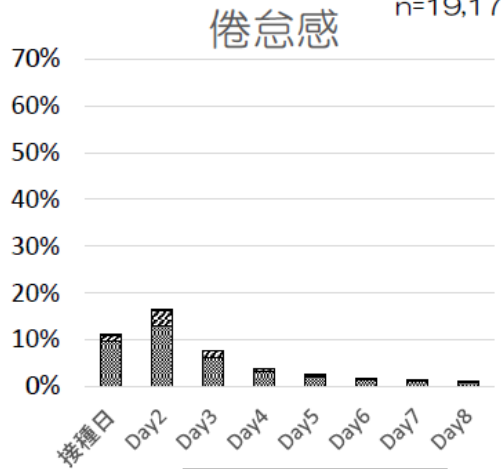
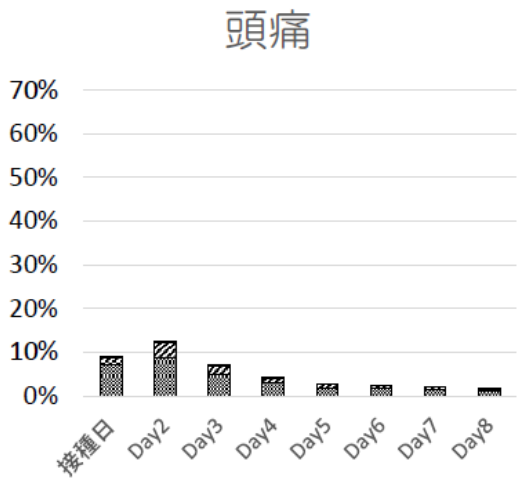
新型コロナワクチンの投  
与開始初期の重点的調査  
（コホート調査）

Data Cutoff Date 2021/4/21 8:00

## 全身反応

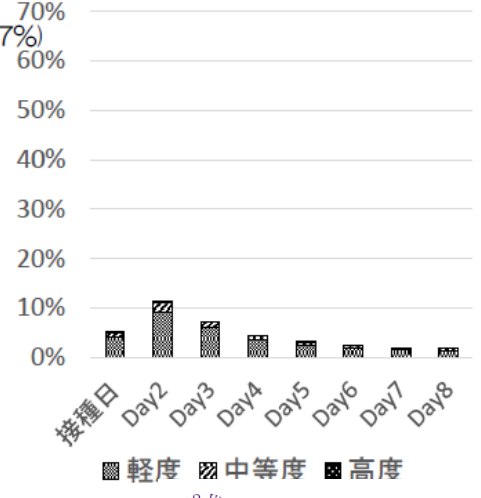
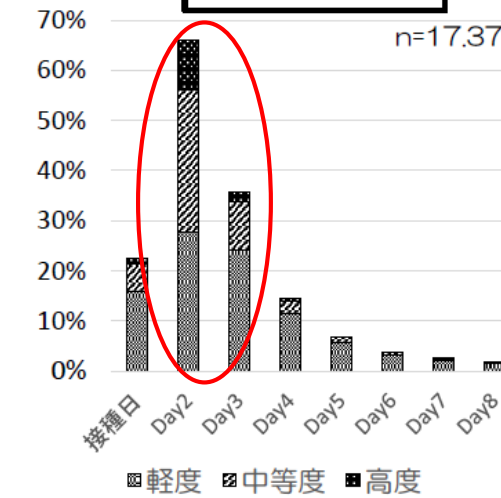
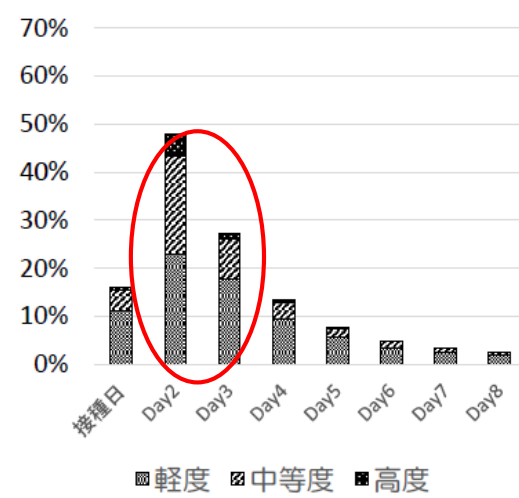
1回目接種後

n=19,173(96.8%)



2回目接種後

n=17,376(87.7%)



■軽度 ■中等度 ■高度

■軽度 ■中等度 ■高度

■軽度 ■中等度 ■高度

(出典) 新型コロナワクチンの接種後の健康状況調査 健康観察日誌集計の中間報告（令和3年4月23日）  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine\\_kenkoujoukyoutyousa.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_kenkoujoukyoutyousa.html)

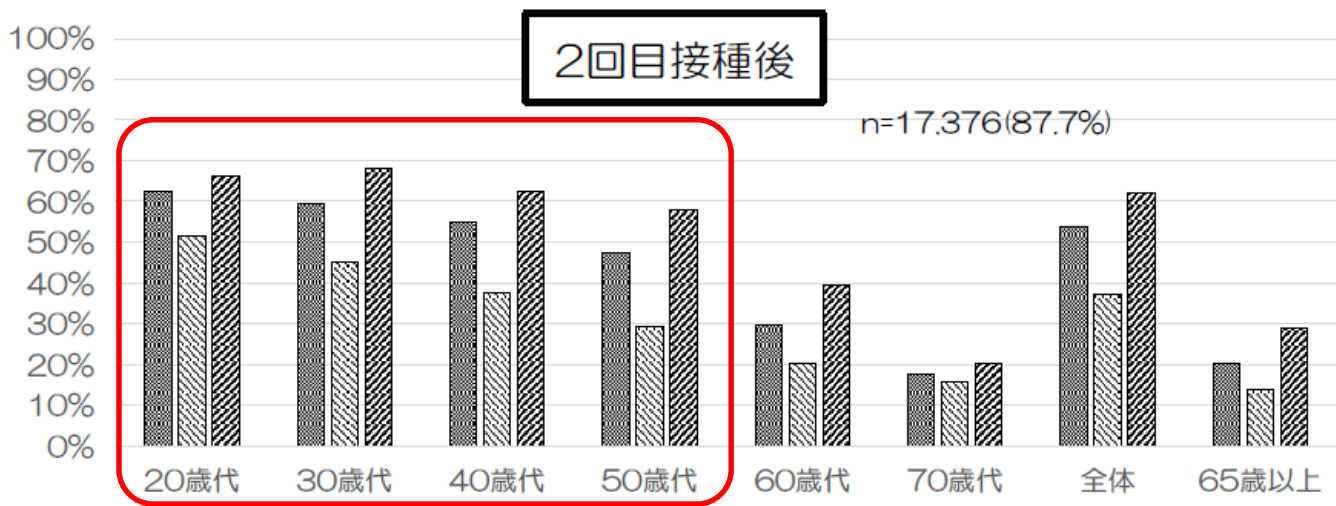
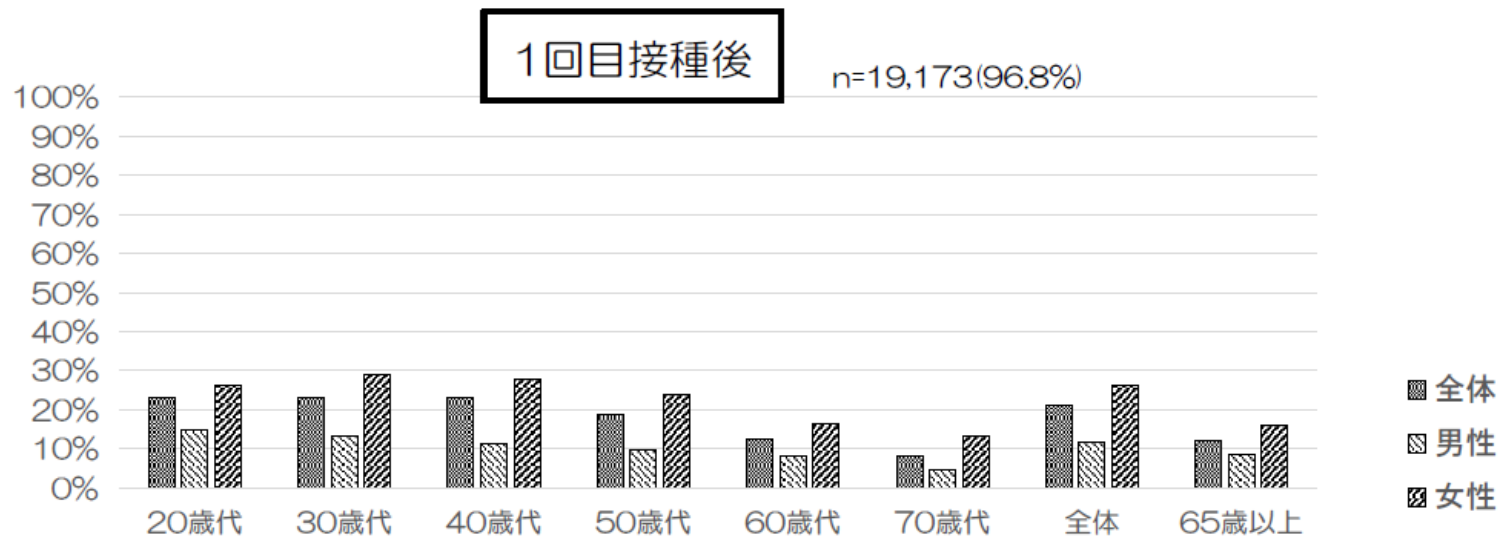


# 医療従事者先行接種における副反応疑い調査の中間報告（全国）

新型コロナワクチンの投  
与開始初期の重点的調査  
（コホート調査）

Data Cutoff Date 2021/4/21 8:00

## 頭痛



(出典) 新型コロナワクチンの接種後の健康状況調査 健康観察日誌集計の中間報告（令和3年4月23日）  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine\\_kenkoujoukyoutyousa.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_kenkoujoukyoutyousa.html)

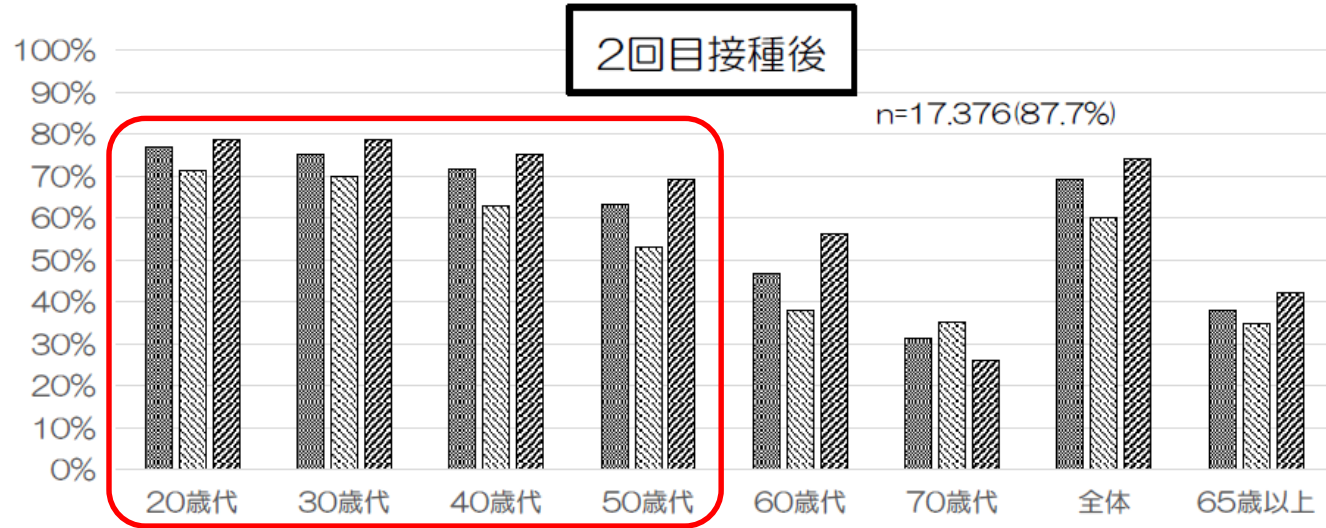
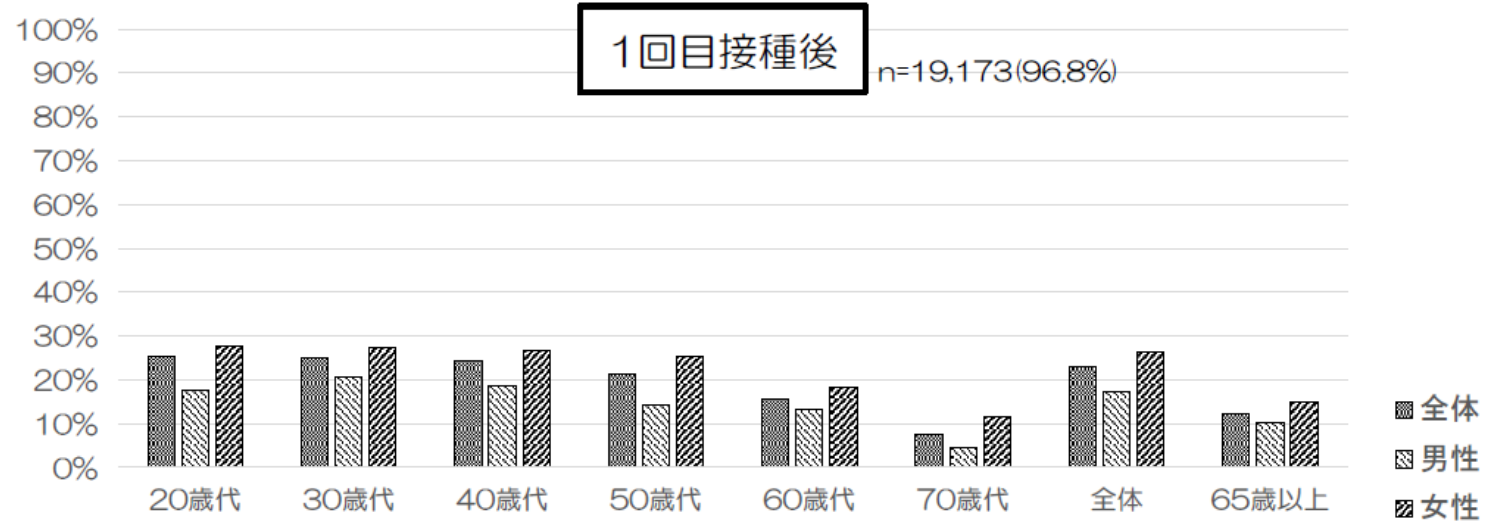


# 医療従事者先行接種における副反応疑い調査の中間報告（全国）

新型コロナワクチンの投  
与開始初期の重点的調査  
（コホート調査）

Data Cutoff Date 2021/4/21 8:00

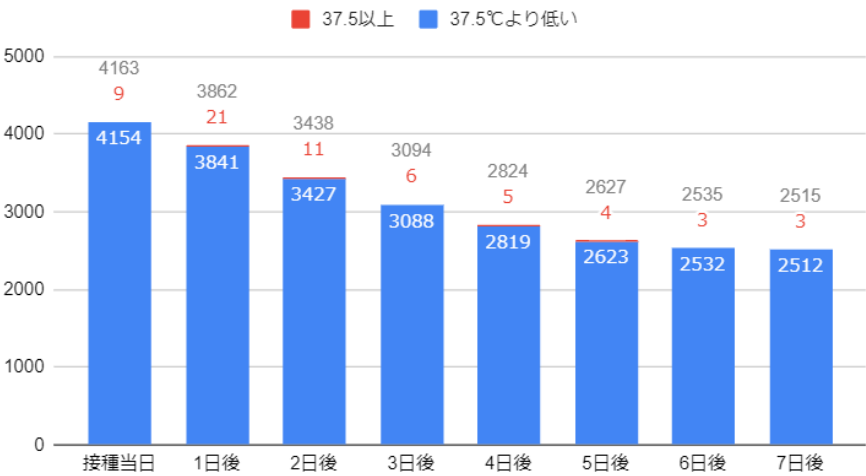
## 全身倦怠感



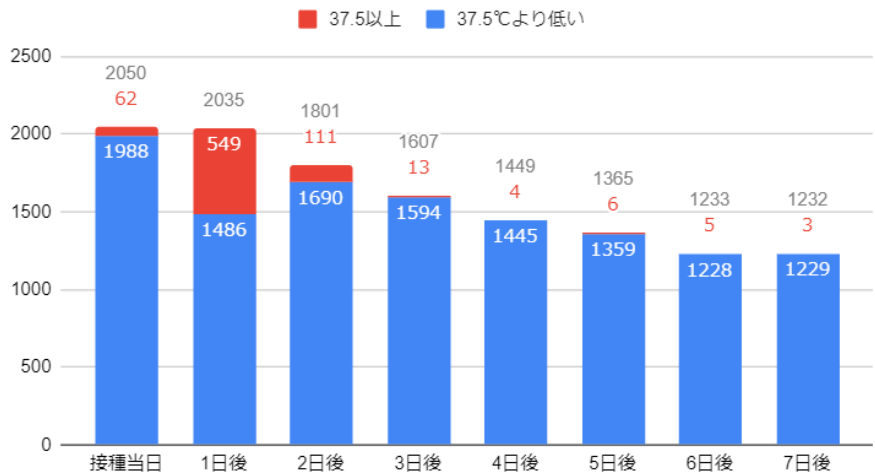
(出典) 新型コロナワクチンの接種後の健康状況調査 健康観察日誌集計の中間報告（令和3年4月23日）  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine\\_kenkoujoukyoutyousa.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_kenkoujoukyoutyousa.html)

# 新型コロナウイルス感染症ワクチン安全性調査（COV-Safe）の状況

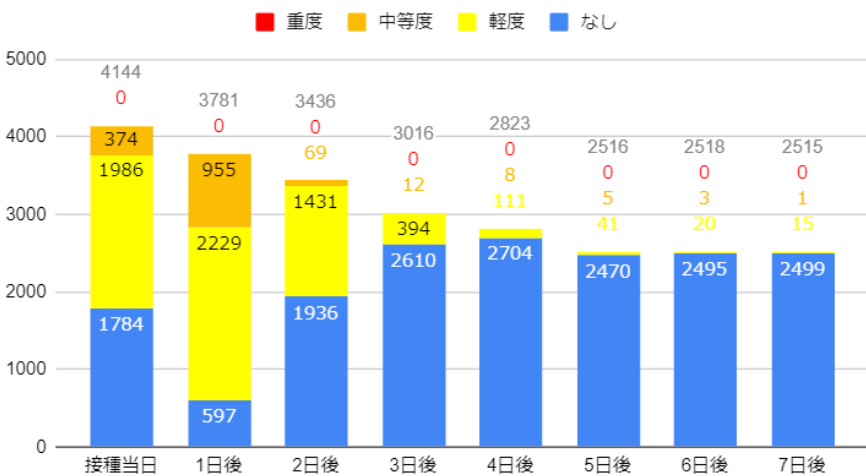
体温①（1回目接種）



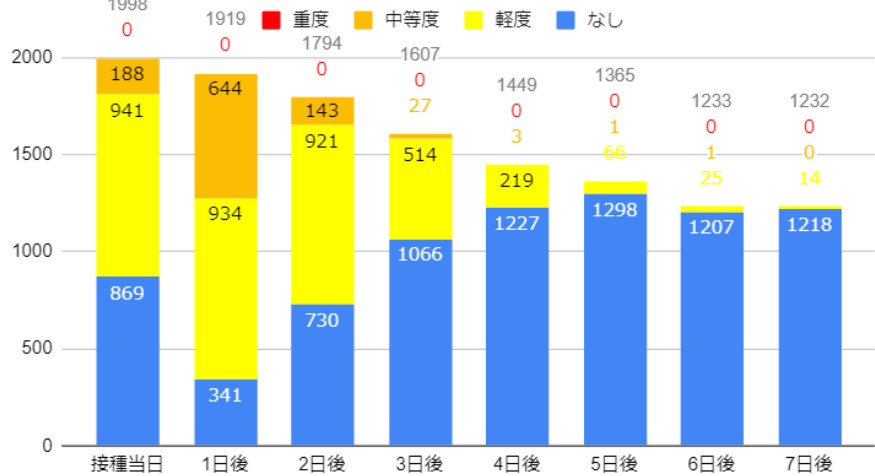
体温②（2回目接種）



接種部位の疼痛（痛み）①（1回目接種）



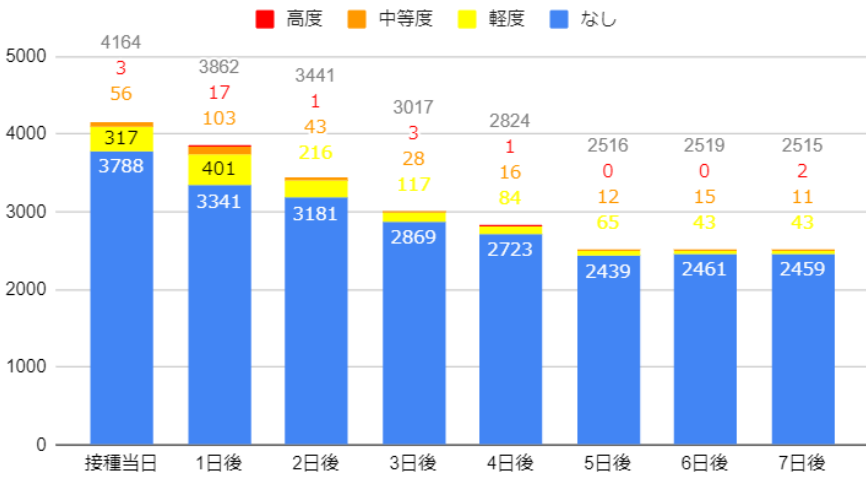
接種部位の疼痛（痛み）②（2回目接種）



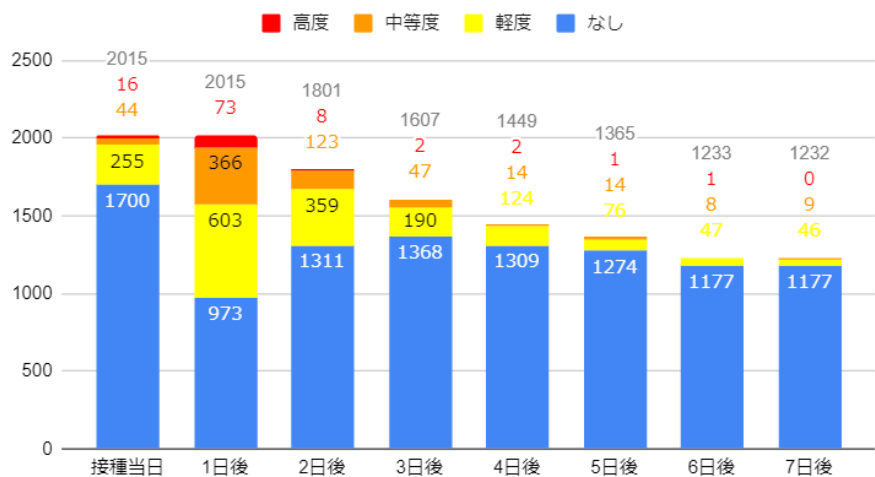
(出典) 新型コロナウイルス感染症ワクチン安全性調査（COV-Safe）（令和3年4月24日）  
<https://sites.google.com/view/cov-safe/>

# 新型コロナウイルス感染症ワクチン安全性調査（COV-Safe）の状況

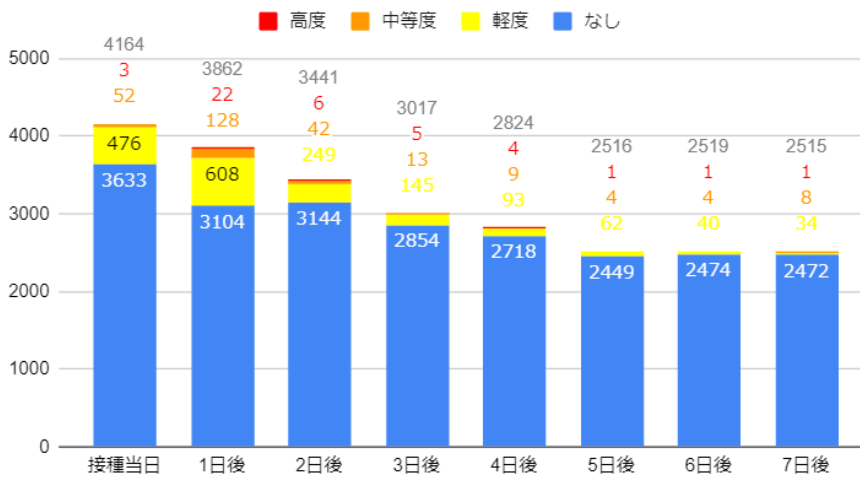
頭痛（頭が痛い）①（1回目接種）



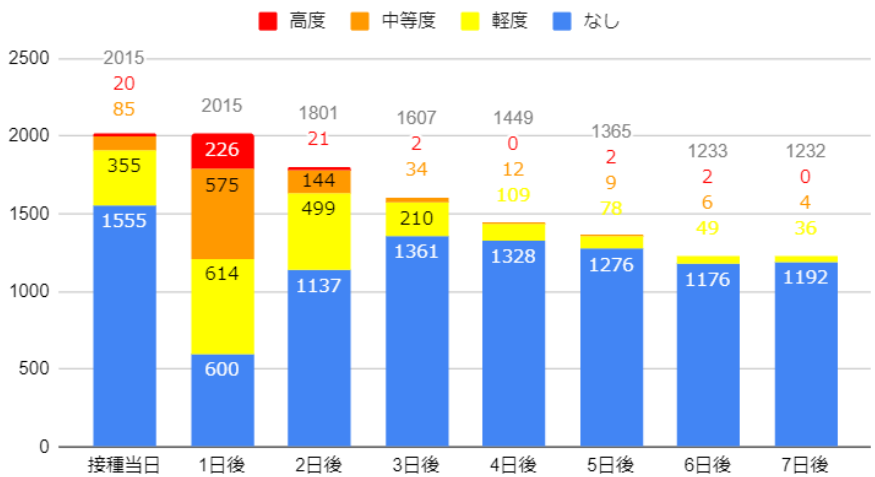
頭痛（頭が痛い）②（2回目接種）



倦怠感（だるい）①（1回目接種）



倦怠感（だるい）②（2回目接種）



(出典) 新型コロナウイルス感染症ワクチン安全性調査（COV-Safe）（令和3年4月24日）  
<https://sites.google.com/view/cov-safe/>

# 予防接種法に基づく医療機関からの副反応疑い報告状況

## ● コロナウイルス修飾ウリジンRNAワクチン（SARS-CoV-2）（ファイザー株式会社）

	推定接種者数 (回数)	副反応疑い報告数 (報告頻度)		
			うち重篤報告数 (報告頻度)	
				うち死亡報告数 (報告頻度)
報告件数	1,930,111	3,298 0.17%	417 0.02%	10 0.00%
うち「関連あり」として報告		2,401 0.12%	314 0.02%	0 0.00%
うち「アナフィラキシー」として報告		492 0.03%		

(令和3年4月18日現在)

- (注)
- 「重篤」とは、①死亡、②障害、③それらに繋がるおそれのあるもの、④入院、⑤①～④に準じて重いもの、⑥後世代における先天性の疾病又は異常のものとされているが、必ずしも重篤でない事象も「重篤」として報告されるケースがある。
  - 重篤報告数は、全報告数から、非重篤及び重篤度が不明な報告数を除いたもの。
  - 表中の推定接種者数は、医療従事者等の接種回数（4/16時点）及び高齢者等の接種回数（4/18時点）を合算（首相官邸Webサイト（4/18時点掲載データ参照））。
  - 報告数は、直近日曜日時点での情報により予防接種との因果関係が不明な事象も含めている。よって、詳細な情報が得られたことによって予防接種との因果関係が否定された事象は、表から除外され各件数が変わることがある。
  - 報告数は副反応疑い報告の件数を集計したもの。1症例（1患者）で複数件の副反応疑い報告が提出される場合があるため、報告数と症例数（患者数）は一致しない。
  - 同一の副反応疑い事例であっても、報告内容（転帰等）の更新等により複数回報告される場合がある。同一副反応疑い事例が複数回報告された場合は、集計時点で最後に報告された報告内容に基づき集計している。

(出典) 第56回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和3年度第2回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（合同開催） 資料（令和3年4月23日） 資料1-1-1を元に作成

# 全国のアナフィラキシーの報告状況

## 医療機関からアナフィラキシーとして報告された件数

国	集計期間	報告件数*/推定接種回数 (*副反応疑い報告のうちアナフィラキシーとして報告された件数)	100万回接種あたりの報告件数	備考
日本	2021年2月17日 ～3月11日	35件/ 181,184回接種 (1回目180,741接種、2回目443接種)	193件	(推定接種回数) 2月17日～4月4日 <a href="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_sesshujisseki.html">https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_sesshujisseki.html</a>
	2021年2月17日 ～4月4日	350件/ 1,096,698回接種 (1回目913,341接種、2回目183,357接種)	319件	※2月17日～4月18日 医療従事者等の接種回数(4/16時点)及び 高齢者等の接種回数(4/18時点)を合算 (首相官邸Webサイト(4/18時点掲載データ参照)) <a href="https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/vaccine.html">https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/vaccine.html</a>
	2021年2月17日 ～4月18日	492件/ 1,930,111回接種 ※ (1回目1,211,715接種、2回目718,396接種)	255件	

## ブライトン分類に基づき評価された件数

国	集計期間	報告件数*/推定接種回数 (*ブライトン分類1-3の報告)	100万回接種あたりの報告件数	備考
日本	2021年2月17日 ～3月11日	10件/ 181,184回接種 (1回目180,741接種、2回目443接種)	55件	(推定接種回数) 2月17日～4月4日 <a href="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_sesshujisseki.html">https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_sesshujisseki.html</a>
	2021年2月17日 ～4月4日	79件/ 1,096,698回接種 (1回目913,341接種、2回目183,357接種)	72件	※2月17日～4月18日 医療従事者等の接種回数(4/16時点)及び 高齢者等の接種回数(4/18時点)を合算 (首相官邸Webサイト(4/18時点掲載データ参照)) <a href="https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/vaccine.html">https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/vaccine.html</a>
	2021年2月17日 ～4月18日	88件/ 1,930,111回接種 ※ (1回目1,211,715接種、2回目718,396接種)	46件	

# <参考> ブライトン分類におけるアナフィラキシーの分類評価

## ブライトン分類におけるアナフィラキシーの症例定義

レベル	基準
必須基準	突発性の発症 徴候および症状の急速な進行 2つ以上の多臓器の症状
レベル1	1つ以上のメジャー皮膚症状および1つ以上のメジャー循環器症状（または/および1つ以上のメジャー呼吸器症状）
レベル2	2-1 1つ以上のメジャー循環器症状および1つ以上のメジャー呼吸器症状
	2-2 1つ以上のメジャー循環器症状（または1つ以上のメジャー呼吸器症状）および1つ以上の異なる器官（循環器および呼吸器は除く）で1つ以上のマイナー症状
	2-3 1つ以上のメジャー皮膚症状および1つ以上のマイナー循環器症状（または/および1つ以上のマイナー呼吸器症状）
レベル3	1つ以上のマイナー循環器症状（または呼吸器症状）および2つ以上の異なる器官/分類から1つ以上のマイナー症状
レベル4	十分な情報が得られておらず、症例定義に合致すると判断できない
レベル5	アナフィラキシーではない（診断の必須条件を満たさないことが確認されている）

臓器	メジャー症状	マイナー症状
皮膚/粘膜症状	<input type="checkbox"/> 全身性蕁麻疹 もしくは 全身性紅斑 <input type="checkbox"/> 血管浮腫（遺伝性のものを除く）、局所もしくは全身性 <input type="checkbox"/> 発疹を伴う全身性掻痒感	<input type="checkbox"/> 発疹を伴わない全身性掻痒感 <input type="checkbox"/> 全身がちくちくと痛む感覚 <input type="checkbox"/> 有痛性眼充血 <input type="checkbox"/> 接種局所の蕁麻疹
循環器症状	<input type="checkbox"/> 測定された血圧低下 <input type="checkbox"/> 非代償性ショックの臨床的な診断（以下の3つ以上） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 頻脈</li> <li>・ 毛細血管再充満時間（3秒より長い）</li> <li>・ 中枢性脈拍微弱</li> <li>・ 意識レベル低下もしくは意識消失</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 末梢性循環の減少（以下の2つ以上） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 頻脈</li> <li>・ 血圧低下を伴わない毛細血管再充満時間（3秒より長い）</li> <li>・ 意識レベルの低下</li> </ul>
呼吸器症状	<input type="checkbox"/> 両側性の喘鳴（気管支痙攣） <input type="checkbox"/> 上気道性喘鳴 <input type="checkbox"/> 上気道腫脹（口唇、舌、喉、口蓋垂、喉頭） <input type="checkbox"/> 呼吸窮迫（以下の2つ以上） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 頻呼吸</li> <li>・ 補助的な呼吸筋の使用増加（胸鎖乳突筋、肋間筋など）</li> <li>・ 陥没呼吸</li> <li>・ チアノーゼ</li> <li>・ 喉音発生</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 持続性乾性咳嗽 <input type="checkbox"/> 嘔声 <input type="checkbox"/> 咽喉閉塞感 <input type="checkbox"/> くしゃみ、鼻水 <input type="checkbox"/> 喘鳴もしくは上気道性喘鳴を伴わない呼吸困難
消化器症状	—	<input type="checkbox"/> 下痢 <input type="checkbox"/> 腹痛 <input type="checkbox"/> 悪心 <input type="checkbox"/> 嘔吐
臨床検査	—	<input type="checkbox"/> 通常の上限以上の肥満細胞トリプターゼ上昇

アナフィラキシーの診断必須条件として、①突然の発症、②徴候および症状の急速な進行、③ 2つ以上の多臓器の症状が挙げられている。皮膚症状、循環器症状、呼吸器症状、消化器症状別にメジャーおよびマイナー基準が記載されている。該当する症状の組合せで、カテゴリー分類する。

症例の確度は通常3段階に分類して決められる。レベル1は診断特異性が最も高く、レベル2は診断特異性が中位、レベル3になれば診断特異性は低くなるが、ここまではアナフィラキシーと定義される、診断定義に合致しないものとして、レベル4は分類のための十分な情報が得られていないため、判断ができないもの、レベル5は必須条件を満たさないことが確認されているものとなっている。

出典：薬剤疫学 Jpn J Pharmacoevidiol, 202 Dec 2015 : 57

# 県内における副反応疑い報告の状況

- 県内における副反応疑い報告については、45件が報告されており、その内、7件がアナフィラキシー疑いと報告されている。
- アナフィラキシー疑いとして報告された事例については、医療機関において必要な処置が行われており、すべての方が回復または軽快となっている。

## 副反応疑い報告の状況

期間	副反応疑い報告数 (報告頻度)	内アナフィラキシー疑い (報告頻度)
	2/19~4/29 上記期間に報告があったもの	45 (0.08%)

(注)  
・ 報告頻度は、4/29時点でV-SYSに登録された接種回数をもとに算出  
・ 副反応疑い報告は、1症例(1患者)で複数件の報告が提出されているものがあるため、それらの重複分は除いて、症例数としている。

# 県内におけるアナフィラキシー疑い報告事例の一覧

- アナフィラキシー疑いと報告された事例については、国の審議会で専門家による評価が行われ、本県の報告事例7件中、ブライトン分類に基づくアナフィラキシーと評価されたのは2件（1件は未評価）。

No.	年代	性別	発生日	接種回数	基礎疾患	症状	転帰日	転帰状況	専門家による評価	
									ブライトン分類	因果関係評価
1	20代	女性	3月16日	1回目	慢性扁桃炎	全身倦怠感が発生し、当日夜に、呼吸困難、まぶたや喉の腫れ、腹痛・下痢等の症状が現れ、17日（水）に病院の救急外来を受診し、投薬および入院の結果、18日（木）に退院した。	3月18日	回復	1	ワクチンと症状名との因果関係が否定できない
2	30代	男性	3月19日	1回目	なし	接種21分後に呼吸困難症状が現れ、その後顔面の経度紅潮、喘鳴、蕁麻疹等の症状がみられたため、接種医がアナフィラキシーと判断し、アドレナリンを注射した結果、症状は軽快した。	3月19日	軽快	1	ワクチンと症状名との因果関係が否定できない
3	50代	女性	3月23日	1回目	糖尿病 ※過去にB型肝炎ワクチン接種の際にじんましんや下痢の副反応あり	自身が勤務する病院内の会場において、新型コロナワクチンを接種したところ直後から咳が出始めた。そのまま30分間の経過観察の後、接種会場から出て仕事に戻ったが、呼吸の苦しさやのどの閉そく感が現れるとともに、咳もひどくなったため、接種会場に戻り病状を訴えたところ、対応にあたった医師によりアナフィラキシーと判断され、経過観察目的のため入院した。翌日（3月24日）、呼吸困難等の症状もなく経過良好と判断され退院した。	3月24日	回復	4	「情報不足等によりワクチンと症状名との因果関係が評価できない
4	20代	女性	3月27日	1回目	気管支喘息、てんかん発作	接種してから約20分後に首周囲から両上腕にかけて痒みを感じられ、発疹がみられた。また、両前腕の皮膚、指先に冷感があり、循環不全も認められたことから、アナフィラキシーと診断された。アドレナリンを注射後は手指前腕の冷感が消失し、発疹も消失傾向にあり、現在は回復している。	3月27日	回復	4	「情報不足等によりワクチンと症状名との因果関係が評価できない
5	30代	女性	4月7日	2回目	喘息	2回目となるワクチン接種をしてから約20分後に吐気、体幹の発赤、痒みがみられたことから、アナフィラキシーと診断された。アドレナリンを注射した結果、症状は改善し、現在は回復している。	4月8日	回復	4	「情報不足等によりワクチンと症状名との因果関係が評価できない
6	50代	女性	4月16日	1回目	慢性蕁麻疹、アトピー性皮膚炎	ワクチン接種をしてから約15分後に、椅子から立ち上がる際に脳血流の低下によると思われる意識消失が生じた。接種の担当職員からの呼びかけにも応じず、脈拍も触れなかったため、胸部圧迫を数回行われたところ、速やかに脈拍が改善した。その後、院内で適切な処置を行い、2時間後には通常どおり歩行できる状態にまで改善した。	4月17日	軽快	4	「情報不足等によりワクチンと症状名との因果関係が評価できない
7	40代	女性	4月19日	2回目	なし	2回目となるワクチン接種をしてから1時間以内に、咳、全身の痒み、呼吸困難症状が現れたため、接種医がアナフィラキシーと判断し、アドレナリンを注射した結果、症状は軽快した。	4月20日	軽快		未評価



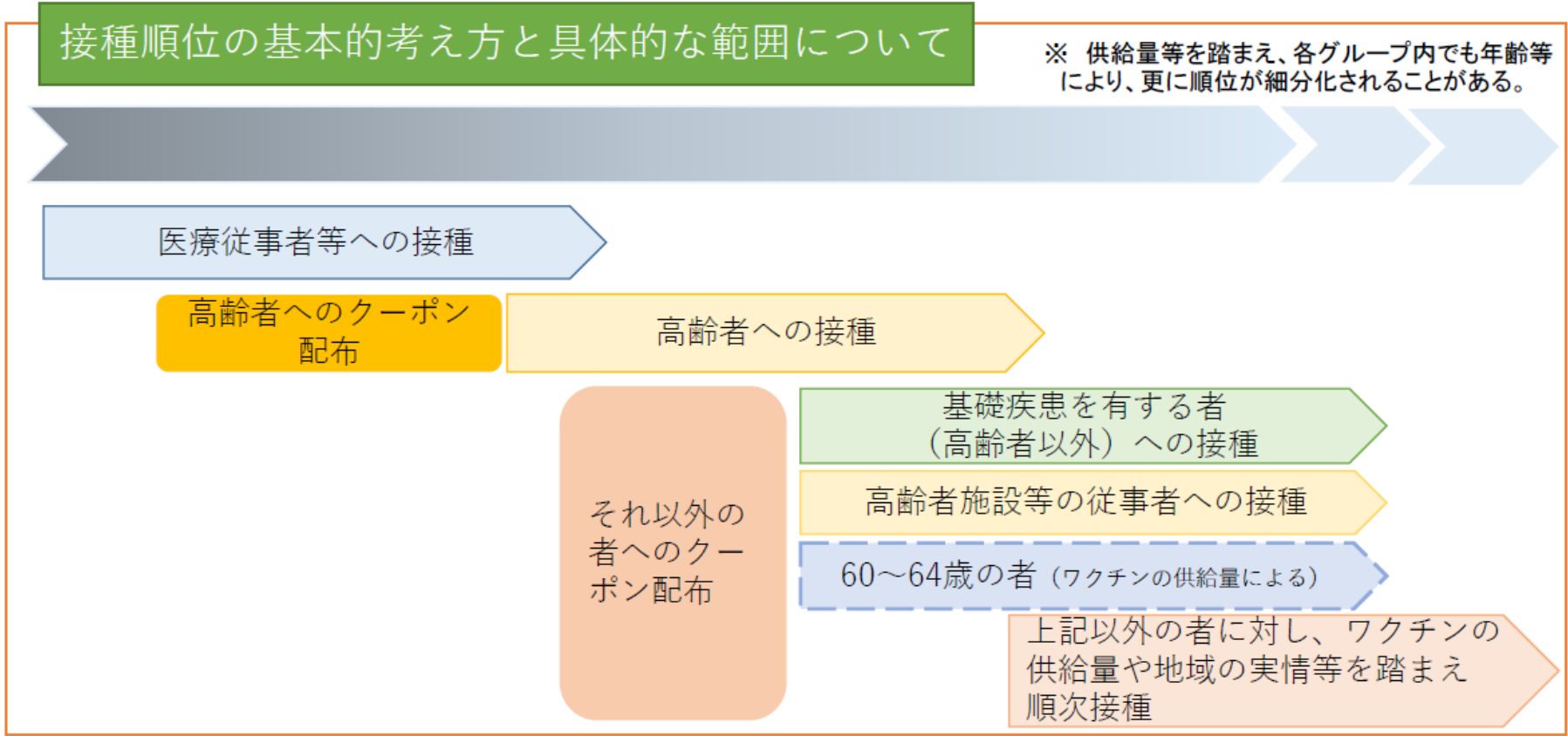
# 接種順位の考え方

## 1 接種順位の基本的考え方と具体的な範囲について

重症化リスクの大きさ等を踏まえ、まずは①医療従事者等への接種、次に②高齢者、その次に③高齢者以外で基礎疾患を有する者、高齢者施設等の従事者への接種をできるようにする。

その後、それ以外の者に対し、ワクチンの供給量や地域の実情等を踏まえ順次接種をできるようにする。

令和3年2月9日 内閣官房、厚生労働省「新型コロナウイルス感染症に係るワクチンの接種について」



# 接種順位の上位に位置づける基礎疾患を有する者について

## 1. 以下の病気や状態の方で、通院／入院している方

1. 慢性の呼吸器の病気
2. 慢性の心臓病（高血圧を含む。）
3. 慢性の腎臓病
4. 慢性の肝臓病（肝硬変等）
5. インスリンや飲み薬で治療中の糖尿病又は他の病気を併発している糖尿病
6. 血液の病気（ただし、鉄欠乏性貧血を除く。）
7. 免疫の機能が低下する病気（治療中の悪性腫瘍を含む。）
8. ステロイドなど、免疫の機能を低下させる治療を受けている
9. 免疫の異常に伴う神経疾患や神経筋疾患
10. 神経疾患や神経筋疾患が原因で身体の機能が衰えた状態（呼吸障害等）
11. 染色体異常
12. 重症心身障害（重度の肢体不自由と重度の知的障害とが重複した状態）
13. 睡眠時無呼吸症候群

**14. 重い精神疾患（精神疾患の治療のため入院している、精神障害者保健福祉手帳を所持している、又は自立支援医療（精神通院医療）で「重度かつ継続」に該当する場合）や知的障害（療育手帳を所持している場合）**

## 2. 基準(BMI 30以上)を満たす肥満の方

\* BMI30の目安:身長170cmで体重約87kg、身長160cmで体重約77kg。

第44回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会（令和3年3月18日）の審議を踏まえ、追加

### (参考)対象者の規模の推計

○ 入院:数十万人(平成29年患者調査)\*、外来:560万人(令和元年国民生活基礎調査)\*

○ 肥満(BMI30以上):260万人(内閣府)\*

(\* 年齢は20-64歳とした。)

○ 重い精神疾患や知的障害:210万人(新規)

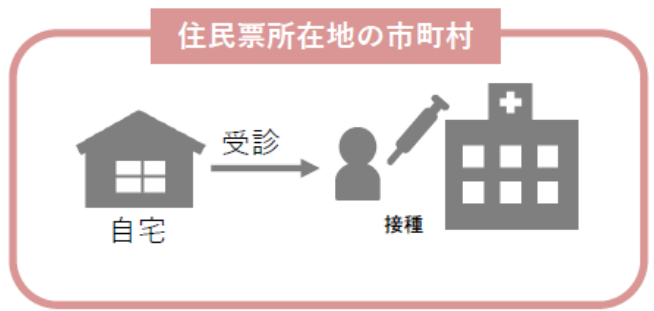
⇒ **合計約1030万人**(互いに重複がない場合)

# 接種場所の原則と例外について

- 新型コロナウイルスワクチンの接種は、平時の定期接種と同様に、各地域で住民向けの接種体制を構築することから、住民票所在地の市町村で接種を受けることを原則とする。
- ただし、長期入院、長期入所している等のやむを得ない事情による場合には、住民票所在地以外でワクチン接種を受けることができることとする。

## 原則（住所地内で接種）

- ・ 住民票所在地の市町村に所在する医療機関等で接種を受けることが原則とする。
- ・ 市町村は住民向けの接種体制を構築する。



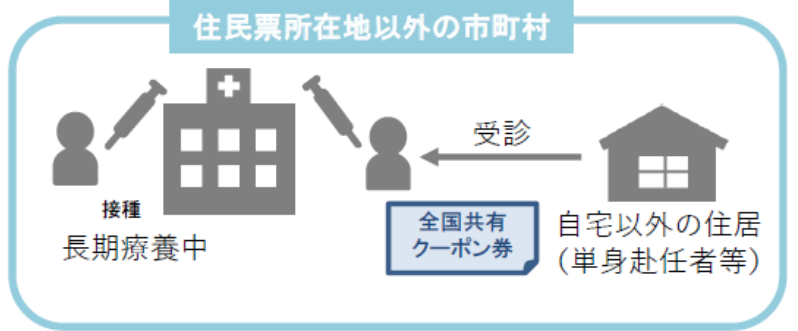
平時の定期接種と同様

## 例外（住所地外で接種）

- ・ 長期入院、長期入所している方等のやむを得ない事情による場合には、例外的に住民票所在地以外でワクチン接種を受けることができる。

やむをえない事情で住民票所在地以外に長期間滞在している者の例

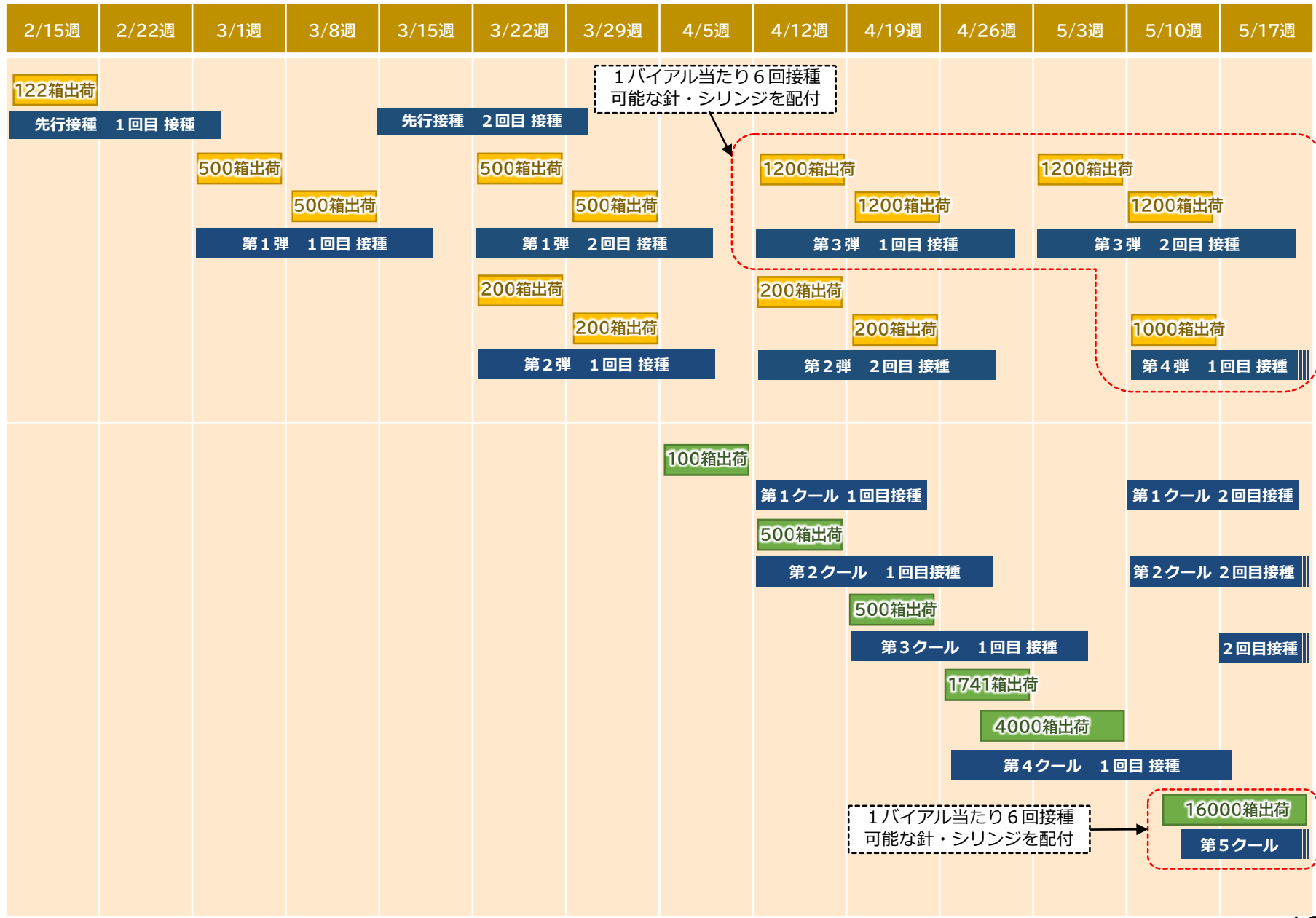
市町村への申請が必要な方	市町村への申請が不要な方
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出産のために里帰りしている妊産婦</li> <li>・ 遠隔地へ下宿している学生</li> <li>・ 単身赴任者 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入院・入所者</li> <li>・ 基礎疾患を持つ者が主治医の下で接種する場合</li> <li>・ <b>副反応のリスクが高い等のため、体制の整った医療機関での接種を要する場合</b></li> <li>・ <b>市町村外の医療機関からの往診により在宅で接種を受ける場合</b></li> <li>・ 災害による被害にあった者</li> <li>・ 拘留又は留置されている者、受刑者 等</li> </ul>



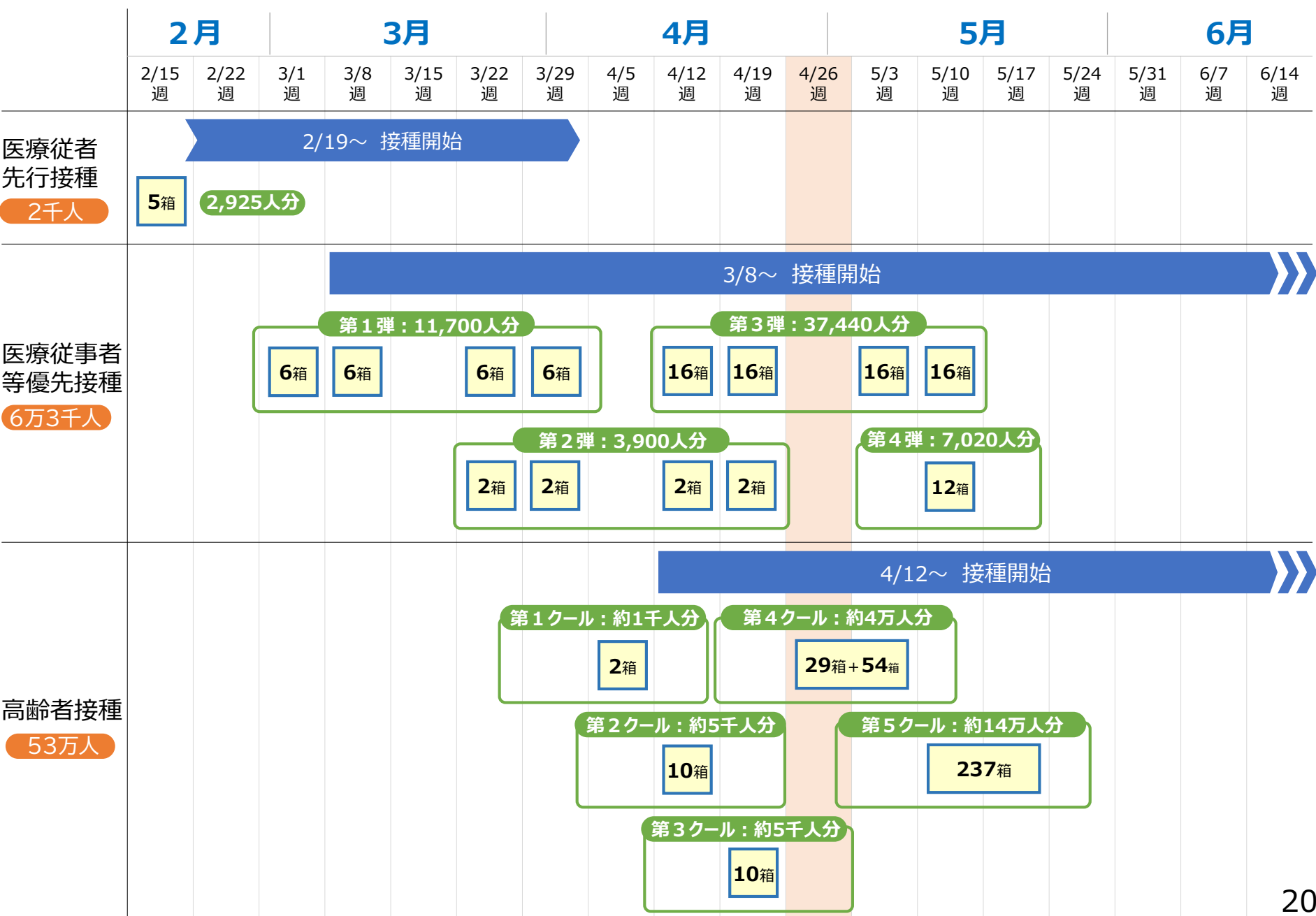
# 新型コロナワクチン配送スケジュール（全国）

医療従事者等向け接種

高齢者向け優先接種



# 新型コロナワクチン接種・供給スケジュール（県内）



# 医療従事者向けワクチンの配分

- 医療従事者向け優先接種のワクチンは、**現時点の納入量は、64箱（34,320人分）**であり、**優先接種の対象となる医療従事者等の約54%**に当たる分量となっている。
- 医療従事者等向けワクチンの供給は第4弾で最後となるため、不足分を高齢者向けワクチンの第5クール分の一部を活用。したがって、**5月17日の週には、優先接種の対象となる医療従事者等のすべての方に必要がワクチンが供給**されることになる。

## 医療従事者等向けワクチンの配分量（見込みも含む）

	供給日程	配分量	うち、納入済	累計充足度	備考
第1弾	3/1～3/8の週 3/22～3/29の週	24箱 (11,700人分)	24箱 (11,700人分)	19%	1バイアル5回接種
第2弾	3/22～3/29の週 4/12～4/19の週	8箱 (3,900人分)	8箱 (3,900人分)	25%	1バイアル5回接種
第3弾	4/12～4/19の週 5/3～5/10の週	64箱 (37,440人分)	32箱 (18,720人分)	84%	1バイアル6回接種
第4弾	5/10の週	12箱 (7,020人分)	0箱	95%	1バイアル6回接種
高齢者 第5クール	5/10～5/17の週	5箱 (2,925人分)	0箱	100%	1バイアル6回接種

# 基本型・連携型接種施設一覧（令和3年3月末時点）

赤字：集団接種会場 緑字：個別接種会場

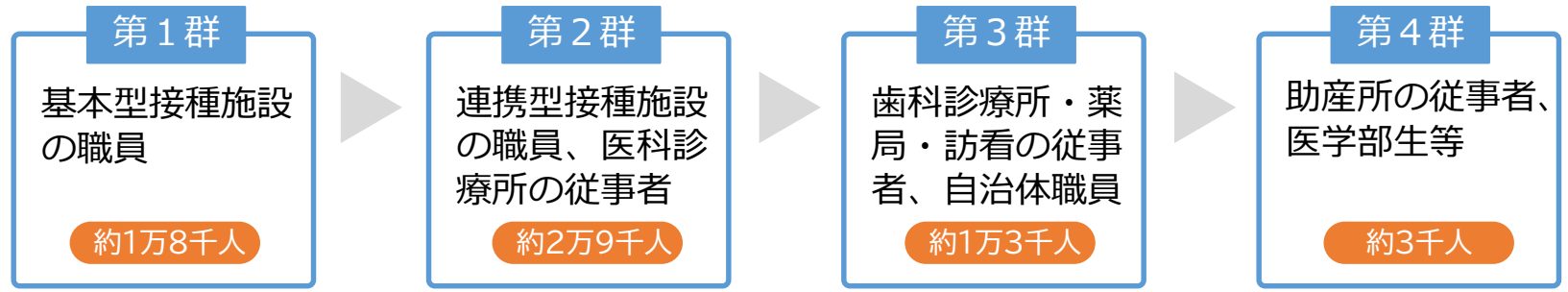
医師会 区域	基本型接種施設	連携型接種施設									
桑名	桑名市役所（ワクチン移送のみ）	桑名市総合医療センター	青木記念病院	長島中央病院	桑名病院	ヨナハ総合病院	もりえい病院	多度あやめ病院	61の診療所		
いなべ	いなべ総合病院	北勢病院	日下病院	東員病院	大仲さつき病院						
四日市	市立四日市病院	主体会病院	みたき総合病院								
	四日市羽津医療センター	富田浜病院									
	県立総合医療センター	小山田記念温泉病院	総合心療センターひなが	山中胃腸科病院							
	孤野厚生病院	水沢病院	四日市消化器病センター								
鈴鹿市	鈴鹿中央総合病院	鈴鹿厚生病院	白子ウィメンズホスピタル	（鈴鹿市応急診療所）							
	鈴鹿回生病院	鈴鹿医療科学大学附属桜の森病院	（鈴鹿市応急診療所）	←途中でワクチン供給元施設を切り替え							
	村瀬病院	高木病院	鈴鹿さくら病院	塩川病院							
亀山	亀山市立医療センター										
津地区	三重大学医学部附属病院	遠山病院	若葉病院	津生協病院							
	三重病院	子ども心身発達医療センター	吉田クリニック	岩崎病院	第二岩崎病院	KKC三重健診クリニック	千里クリニック	東海眼科	セントローズクリニック	ヤナセクリニック	三重県赤十字センター
	永井病院	武内病院	倉本内科病院	大門病院							
久居一志地区	三重中央医療センター	県立一志病院	榊原病院	久居病院	榊原温泉病院	藤田医科大学七栗記念病院	榊原白鳳病院	井上内科病院	こころの医療センター	←津地区所属だが例外的に久居一志地区の接種体制に組み込み	
伊賀	上野総合市民病院	上野信貴山病院分院上野病院									
	岡波総合病院	森川病院									
名賀	名張市応急診療所（市役所）	名張市立病院	寺田病院	夢眠クリニック							
松阪地区	松阪中央総合病院	花の丘病院	大台厚生病院								
	済生会松阪総合病院	南勢病院	済生会明和病院	三重ハートセンター							
	松阪市民病院	桜木記念病院	松阪厚生病院								
伊勢地区	伊勢赤十字病院	伊勢慶友病院	伊勢田中病院								
	市立伊勢総合病院	玉城病院	町立南伊勢病院								
志摩	県立志摩病院	志摩市休日・夜間応急診療所	志摩市民病院	鳥羽市休日・夜間応急診療所							
紀北	尾鷲総合病院	第一病院	長島回生病院								
紀南	紀南病院	熊野病院									

※上記施設の中には、高齢者接種に向けて、施設類型を変更する施設もある（基本型→サテライト型、連携型→基本型）

# 医療従事者向け優先接種における接種の考え方

## 接種の考え方

- 医療従事者等向けのワクチンの十分な供給がなされないまま、4月からは高齢者接種が並行して実施されることとなったため、医療従事者等を次のグループに分け、基本的にこの順番で接種を実施。
- 第1群として、新型コロナウイルス対応の最前線に立つ病院や救急医療を担っている病院で占める基本型接種施設の職員から接種を開始（現時点ではほぼ完了）
- 第2群として、連携型接種施設の職員や医科診療所の従事者となるが、その中でも、高齢者接種に携わる医療従事者を優先的に接種
- 実際の接種は、地域の実情に応じて、上記順位によらない取扱いとすることも各地域の判断で可能





# 高齢者向けワクチンの配分

- 高齢者向け接種に用いるワクチンについては、これまでの第1クールから第4クールまでの配分状況から、4月の最終週までに県内へは105箱（約5万1千人分）が供給されることとなっているが、**十分な供給はなされず、現時点では、高齢者人口の10%弱**にとどまっている。
- 5日10日の週の第5クール分から、供給が本格化するが、それでも、各市町の希望量は全て配分されず、第5クールまでの高齢者人口（約53万人）に対するワクチンの累計充足度は、35.3%にとどまる。
- 国は、6月末までに高齢者接種に必要なワクチンを全量供給すると示しているため、**残りの約65%分（概ね600箱程度）が5月後半から6月末までに順次供給されると見込まれる。**

## 高齢者向けワクチンのこれまでの配分

	供給日程	全国	本県への割当箱数	累計充足度	備考
第1クール	4/5の週	50箱	2箱 (975人分)	0.2%	1バイアル5回接種
第2クール	4/12の週	100箱	10箱 (4,875人分)	1.1%	1バイアル5回接種
第3クール	4/19の週	100箱	10箱 (4,875人分)	2.0%	1バイアル5回接種
第4クール	4/26の週	1,741箱	29箱 (14,137人分)	4.7%	1バイアル5回接種
	4/26~5/3の週	4,000箱	54箱 (26,325人分)	9.7%	1バイアル5回接種
第5クール	5/10~5/17の週	16,000箱	232箱 (135,720人分) 別途5箱を医療従事者用に流用	35.3%	1バイアル6回接種

# 高齢者向けワクチンの各市町への配分状況

- 第1クールから第4クールまでのワクチンのうち、最初の2箱までは、各市町に均等に配分。
- 3箱目からは、基本的には、各市町が希望する量を割り当てるが、県への配分量が各市町の希望量の総量に満たない場合は、そのクールで三重県に配分された量を、各市町の高齢者人口比で按分して割り当て。
- 第3クールまでのワクチン供給では全ての市町に行き渡らないため、各市町の高齢者接種の開始時期にずれが生じている。 **5月の連休明けから全市町で高齢者接種が始まる見込み。**

市町	高齢者人口	第1クール	第2クール	第3クール	第4クール	第5クール	計	市町	高齢者人口	第1クール	第2クール	第3クール	第4クール	第5クール	計
桑名市	37,250		1		4	17	22	明和町	6,803	-	-	-	-	-	-
木曽岬町	2,005				2	1	3	大台町	3,872	-	-	-	-	-	-
いなべ市	12,296			1	2	6	9	伊勢市	39,446		1		5	18	24
東員町	7,623		1		2	3	6	玉城町	4,145			1	1	2	4
四日市市	80,084	1			8	35	44	度会町	2,769				2	1	3
朝日町	2,065				2		2	大紀町	3,976			1	1	2	4
川越町	2,896				2	1	3	南伊勢町	6,273		1		2	3	6
菰野町	10,704			1	2	5	8	鳥羽市	6,950			1	2	3	6
鈴鹿市	49,610		1		6	22	29	志摩市	19,300			1	3	9	13
亀山市	13,212		1		2	6	9	尾鷲市	7,622			1	2	3	6
津市	81,222	1			8	36	45	紀北町	6,820			1	2	3	6
伊賀市	29,701		1		4	13	18	熊野市	7,210		1		2	3	6
名張市	25,595		1		3	12	16	御浜町	3,306				2	1	3
松阪市	48,082		1	2	10	25	38	紀宝町	3,909				2	2	4
多気町	4,801	-	-	-	-	-	-	合計	529,547	2	10	10	83	232	337

※高齢者人口は、令和2年1月1日時点の住民基本台帳人口の65歳以上人口  
 ※松阪市と多気郡3町（多気町、明和町、大台町）は共同接種体制をとっているため、ワクチンの配分は松阪市に集約